

2-2
職場体験感想文コンクール2024

タイトル	職場体験を通して	事務局	305
学校名	酒田第三中学校 5	氏名	後藤 香菜

私は、今回、社会福祉法人、カタバニ会、五十嵐工業株式会社、大阪有機化学工業株式会社、山形県立産業技術短期大学校庄内校の、4つの企業の職場体験をさせて頂きました。私はこの4つの企業の体験を通して、働く人たちに、大切なことについて、よく考えることができました。

はじめにカタバニ会は、介護の仕事で、私たちは、車いすの体験や、老人の耳の聞こえ方などを知りました。次に行った五十嵐工業では、私たちが普段、絶対にさわれないような電線と、その材料を近くで見たり、ふれたりしました。2日目の、大阪有機化学工業では、スチパウダーを使った自分の好きな香りの若香剤をつくりました。最後に体験した産業技術短期大学では、"祝儀袋の書き方など、社会人にとって大切な日本の礼儀などを学びました。この2日間を通して、私がいっ番心に残ったことは、カタバニ会の五十嵐さんのお話です。私は今まで、将来の夢は、と聞かれたら、なんとなくで、「人に聞かれる仕事」がいいなと思っていました。私は、ものをつくり、一人で作業するよりも、お客さんの顔を見て話すことの方が好きだと思っていられる。そのため介護士という仕事をしている方のお話はとても貴重に感じました。話を聞いているなかで、カタバニ会には、日本の自由が、生活の全てをお手伝いしないといけない人たちがいることを知り、さらに介護士たちの責任感を感じ、難しい仕事だと思いました。改めて、働く人たちの大変さや責任を知り、それなら私は、どんな仕事か合なのか、どんな仕事につけばいいのか、体験中です。と考えていました。職場体験が終わったからも今回、来てくれたこと、

方は、何を決めずに、どうしてその仕事を選んだのか、
分からず、ふり返りをしているとき、みなさんの共通点を見つけました。
それは、「やりがいは何ですか?」と質問した時、迷わず
答えていた所です。思い返してみるとカトリック会の五十嵐さんも
「今まで一人でトイレに行けば、入居者の方が一人で行けた時は
スタッフみんな喜んでました。」

と、笑顔で話してくれました。その時私は、「やりがい」が
仕事をやるうえで大切なことなのではないかと考えました。
私は、普段、家で親に「洗った物でいいよ」と言われる
とめんどくさく感じますが、「ごほうびあげると洗った物でいいよ」と
言われると喜んでます。しかし、「ごほうび」
ではなく、「ありがとう」と言われてうれしくなったり、「片がついてすっきり」
とうれしくなる人もいるでしょう。それは働く人も同じで、人が成長
する所を見てやりがいを感じる人もいれば、人を笑わせたり、
物をつくりあげた時、ちろんお金をもらったりする時など、やりがいは
人によってもそれぞれ違うと思います。だからこそ、自分に合った
「やりがい」を見つけ出し、全力で働くことが大切なんじゃないかと
私は学びました。

今回の体験で私の将来の夢が変わったわけでも、具体的な
なりたい職業を見つけなかったわけでもありませんが、考え方は
変わりました。「なんとなく」ではなく、自分にとっての「やりがい」
を感じられる、そんな素敵な働き方を私はしたいです。